

松 城

那覇市立松城中学校

第 6 号

那覇市立松城中学校長 大浦 武
TEL 891-3414 FAX 891-3434

おかげさま・ありがとう

今年も残り僅かとなりました。感謝の心で、二学期前半を振り返ってみます。

★おかげさまで

【PTA団体賞決定】

(1) 11月19日の那覇地区PTA研究大会では、保護者・学校・地域が連携した「生徒の読書・学習意欲を高める実践」～読み聞かせと松城ノートの取り組みを中心に～とのテーマで本校の実践を発表しました。

学校紹介、松城中を取り巻く環境、「読み聞かせ」の取り組み、生徒と保護者の絆を深め・学習意欲を高める松城ノート、地域・同窓会と連携した取り組み等を松元剛PTA会長と読み聞かせ世話役の横矢昭子さんが発表しました。発表内容・取り組みが素晴らしいとのこと、那覇市PTA連合会から「沖縄県PTA研究大会」で団体表彰したいという電話があり、申請した結果受賞が決定しました。

PTA役員を中心とした学校への支援・協力に感謝申し上げます。

【松城まつり】

(2) 11月26日に行われた松城まつりでは、保護者のご協力・支援のお陰で多くの成果がありました。各学年の委員長を中心とした、バザーの取り組みに感謝申し上げます。

なお、収益は、下記のとおりとなっております。

	販売食品	売上金	経費	収益金
1 学年	揚げパン	50,500	21,357	29,143
2 学年	カレー	63,800	20,791	43,009
3 学年	そば	75,000	31,893	43,107
本 部	飲み物等	49,200	25,202	23,998

(3) 同窓会・PTAによる学校環境整備

11月3日、同窓会による運動場の側溝土砂除去作業が行われた。同窓会予算で重機等をリースし、総勢30人による終日の作業でトラック3台分の土砂を除去した。

(4) 運動周辺の草木の伐採作業

野球部の保護者や外部コーチが中心となり、運動場周辺の草木や伐採作業を行い、運動場周辺が整備されております。保護者の協力で、地区大会も優勝できました。



優勝おめでとう

野球部那覇地区大会 優勝

第2回KBC学園杯 第15回沖縄県中学校新人軟式野球大会那覇地区予選会が11月23日から27日まで行われた。

本校野球部は1回戦沖尚中に1対0、2回戦金城中に延長1対0、3回戦延長3対0、4回戦那覇中1対2逆転さよなら勝ち、決勝戦1対0の僅差で優勝することができました。日頃からの朝練等練習の成果が発揮され喜んでます。12月27日から、国頭で県大会があります。ますますの活躍を期待します。



～ なは教育の日式典 ～

12月10日(土)、パレット市民劇場で「なは教育の日」式典が行われた。式典のなかで、善行青少年、青少年育成成功労者、那覇市教育長賞の表彰があり、那覇市教育長賞として宮本昌典君が表彰されました。また、青少協会長の代表新川唯司真和志地区青少協団体も受賞されました。

～ 青少協 新川唯司会長表彰 ～

11月26日(土)に那覇市青少年健全育成市民会議創立30周年記念式典、祝賀会が那覇市民会館で行われた。市民会議創立30周年記念青少年育成成功労者として本校青少協会長の新川唯司さんが、市民会議会長から推薦され表彰されました。

新川さんは、長期間において本校区の青少協会長とご尽力されるとともに、本校の学校評議員のメンバーでもあります。日頃の健全育成の取り組みに感謝申し上げます。

おかげさまで!

12月7日～10日(土)の三泊四日の日程で、九州地方(福岡・長崎・熊本・大分)への修学旅行が行われ、二年生全員無事に帰ってまいりました。

教科書や本、テレビ等で学んだ知識が体験を通して学ぶことができました。集団生活を通して、ルールを守ること、思いやりや労いあうことの大切さを学び、感じることもできました。

海の赤土

準さぶん大賞受賞

都丸 和佳乃

私が海の赤土流出について書こうと思った理由は、現在私達の住む沖縄の海より昔の海がきれいだと聞いたのと、テレビでもサンゴが破壊されていると聞き、どうしてそのように海が破壊され汚れてしまったのか調べたからです。

まず、1972年本土復帰以降に実施された沖縄振興開発計画による農業基盤整備事業や道路、ダム建設などにより赤土は急増したそうです。その当時雨が降ると、海が赤土色になっていたそうです。

赤土は、琉球列島の島々に見られる粒子の細かい赤色の土で、それが海に流れ出すとサンゴやいろいろな生物に影響し、赤土自体には毒性などはありませんが、粒子が細かいため、一度海に混ざるとなかなか沈殿せず長時間にわたり、海を濁らせてしまいます。すると、雨が止んだ後も日光がさえぎられ、サンゴは光合成ができなくて、栄養不足になり死んでしまうこともあるそうです。また、直接赤土を被った場合もサンゴは大きな打撃を受けるそうです。

ようやく1995年に、沖縄県に赤土等流出防止条例が施行され、沖縄県の開発事業に伴う赤土流出量は三分の一に減少したのですが、赤土の大きな発生源と考えられる農業用地からの流出量は現在も変わらないようです。私は、赤土等流出防止条例がもっと早くできれば今のような海やサンゴを汚染されずにすんだのではないかと思います。

しかし、現在条例ができたにも関わらず、大雨の時に農業用地からの流出量が、現在も変わらないのが不思議です。こんなにも海が汚れているのに、そのまま、放っておくなんておかしいと思います。それどころか近年は、開発に伴い埋め立てや私たちの家庭から出る排水なども海を汚す原因で、米軍演習によっても環境破壊され続けています。

沖縄県は、青い海、青い空のおかげで観光の来客が多く多く利益をもたらしていますが、このまま海が汚れてしまったら、観光客も少なくなるし、海の生物もいなくなってしまう、私達の生活に影響がどんどん出てしまいます。そうなる前に、赤土流失をどのようにしたら抑えられるかを、皆で考えて行動しなければいけないと思います。

また、赤土問題は、沖縄だけでなく同様な亜熱帯の島々の奄美群島でも深刻な社会問題になっており、小笠原諸島や海外のサンゴ礁の島々でも、問題になっているそうです。

この豊かな美しい沖縄の海を守るため、サンゴ移植や様々な取り組みをしている人達は素晴らしいし、そのような取り組みを無駄にせずその人達に声を聞き、今やらなければいけないことを、沖縄県全体で協力していかなければならないと思います。

～ 校長講話より ～

12月13日の朝会の伝達表彰後話した内容です。

第10回「さぶん賞」の準さぶん賞、全国納税組合連合会並びに国税庁が主催する中学生の税に関する作文の組合長賞、那覇市教育長賞、第2回KBC学園杯争奪第15回沖縄県中学校新人軟式野球大会那覇地区予選優勝、殊勲賞、打撃賞、特別支援学級陸上競技大会の一位表彰、読書感想文、感想画、英語検定の表彰など数多くの伝達表彰を行いました。

今年も後半から、スポーツ競技や文化活動において、活躍が目立ってきました。

皆さんの活躍が、今後、ますます「上げ潮」のつてくるものと期待しております。

皆さんが力強い成長を続けていることの一つの原因として、「名門松城中」を合い言葉に、授業、学級活動、生徒会活動、部活動などで、「この時、この場で自分は何をなすべきか」を考え、行動してきた成果です。今、次々と結果になって現れてきております。

学校には、生徒が善いことをしたとき、すぐに喜んでくれる先生方や仲間達がいます。逆に、みなさんが善くないことをしたとき、「それは危ない事だから止めなさい」と厳しく警告を与えてくれる先生方がいます。

学校は、毎年学校評価を行います。みなさんのアンケート結果では、「先生はやってよいことと悪いことをきちんと指導してくれる」が93%と高い評価となっております。

このことは、皆さんが先生方の指導のあり方に満足し、先生方の指導をきちんと聞いているからです。周囲に目を向けると、いじめや暴力、金銭恐喝などで生徒が「もう学校に行きたくない」と訴えるよう

な学校もあるそうです。そのような学校においては、落ち着いて勉強もできませんし、スポーツに打ち込むこともできません。

松城中学校は、そのような学校ではありません。また、そのような学校にしてはなりません。今、私たちの学校は、上げ潮に乗る勢いで伝統復活、「名門松城中」に向かっております。

海の「上げ潮」は、必ず、下げ潮に転じますが、本校の「上げ潮」は、みなさんのがんばりによる人的な「上げ潮」です。今までどおり清掃活動や学校のきまりを守り、諸活動に積極的に頑張り、持続していきましょう。

松城中学校の生徒は、やればできる力を持っていますので、努力を続ける限り、「上げ潮」は持続しますので頑張りましょう。

学校評価で家庭・地域についての評価が下がっております。皆さんは、家の人とどんな話をしますか？

「私は、親や保護者と学校生活についてよく話す」や「将来に夢や希望について、一緒に話しあっている」の評価が下がっております。学校生活や将来の夢や希望について、親子一緒に話し合ってみてください。

★ありがとう

5つの「あ」が大切だとよく言われます。「あいさつ」では、自分からはっきり、ありがとうございます、お願いします、おはようございます、失礼します、すみません（ごめんなさい）がいえることが大切です。「あんぜん」、「あんしん」、「あつまり」、そして、次の日のことを考えて「あとしまつ（整理整頓）をする」と、自分も次に使う人も助かります。おかげさまで、よい1年を過ごすことができました。ありがとうございました。どうぞよいお年をお迎えください。感謝！